

浜田商工会議所 二月号 青年部レポート



新年のごあいさつ
浜田商工会議所青年部
会長 金子 奨悟

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年、未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、自然の脅威を感じると共に人の力の無さを実感いたしました。しかしながら、ボランティア活動や義援金などを通じて人の絆を深く感じることができました。私たちの浜田も豊ヶ浦を見れば分かるように、過去に大地震や津波を経験していません。かなり昔の出来事なので、実感がわかないと思いますが事実なのです。いつ何があっても対応できるように普段から心掛けたいものです。

さて、本年度の青年部活動ですが、平成二十三年には、B B大鍋フェスティバルの開催をはじめとして、食と観光事業での地元食材の美味しさ再発見、県大生との交流事業などを行ってまいりました。これもひとえに、会員また関係各位の皆様のご理解とご協力によるものと感謝いたしております。また、十余名の新入会員を迎え六十名近い会員

を誇る団体となり、青年部活動の幅、異業種交流の裾野が広がり、今まで以上の責任感を感じております。本年度も残り三ヶ月となりましたが、二月には、少子化対策を見据えたお見合いパーティー『素敵な出会い in 浜田』(友達から始めよう!)を開催いたしました。継続的な事業化を目指して日々思索しておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。結びになりましたが、今後とも青年経済人として研鑽に努め、一致団結し浜田の礎になれるよう活動してまいりますので、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

十月例会

平成二十三年十月十五日(土)、市内ボウルジャックに於いて十月例会を開催いたしました。本例会は、部内の親睦を



更には深めることを目的に開催したものです。初めに金子会長から「十一月三日のB B大鍋フェスティバルを控え、怪我の無い様にまた、日頃の運動不足解消と新人会員を含めた部内の交流を深めてほしい。」とのあいさつがありました。金子会長の始球式後、参加者総勢二十二名が各レーンに分かれ二ゲームの競技に一喜一憂しました。一ゲーム目は本来の調子が出ない委員の方もいらつしやいましたが、二ゲーム目からは青春時代の感覚が戻ってきたのか、ターキーが続出し、白熱したプレーが展開されました。

十一月例会

ボウリング終了後は「植本家」へ場所を移し懇親会となりました。懇親会では、「B B大鍋フェスティバル」に向けた各委員の意気込みや意見交換、日頃中々お会いできない他委員会メンバーとの交流を有意義に深めることができました。

去る十一月七日、浜田商工会議所大ホールにてB B大鍋フェスティバル2011反省会を行いました。岩谷会頭をはじめ、浜田市役所、浜田青年会議所、島根県立大学生、ボランティアスタッフの方々等、多くの方々に参加していただきました。

去る十一月七日、浜田商工会議所大ホールにてB B大鍋フェスティバル2011反省会を行いました。岩谷会頭をはじめ、浜田市役所、浜田青年会議所、島根県立大学生、ボランティアスタッフの方々等、多くの方々に参加していただきました。



今回のB B大鍋フェスティバルに反映し、更なるレベルアップを図って行きたいと思えます。今年三月に東日本大震災という数百年に一度の大災害に見舞われた年でしたが、岩谷会頭の挨拶のお言葉にもありましたように、苦境から立ち直る力を少しでも発信できたのではないかと思います。

最後に、ご参加いただきました各青年部の皆様、夜遅くまでお付き合いました。誠にありがとうございます。honkinnachi 委員会 直江 稔

石見四市商工会議所 青年部交流会を終えて

去る十一月十九日(土)、浜田ニューキャッスルホテルにて盛大に石見四市商工



会議所青年部交流会を開催いたしました。大田・江津・益田・浜田の石見地区内の各青年部から、五十三名の皆様にお集まりいただき、早朝より親睦ゴルフコンペ、夕刻より三時間三十分のわたる懇親会等、これまで以上に親睦を深めることができました。会場では、浜田の特産品をメインに、バイキングスタイルで食事をいただきながらクイズゲームや名刺交換ビンゴゲーム、そして、単会PRタイムでは青年部活動の熱い想いを感じさせていたなど、楽しい時間は瞬く間に過ぎていきました。次年度、浜田商工会議所青年部は創立三十周年を迎えるにあたり、絆を深める良い交流会が開催できると。最後に、ご参加いただきました各青年部の皆様、夜遅くまでお付き合いました。誠にありがとうございます。honkinnachi 委員会 委員長 藤原 健